

本気で学ぶ 丈夫で 心豊かな 本庄っ子

ほんじょう



令和5年度 7月号
三田市立本庄小学校

HPにて「今月のほんじょう」No.24まで掲載中 上のQRコードをご利用ください

1学期もあとわずか アンケートにご協力ください 校長 藤田 洋子

行事や日々の活動に追われ、またたく間に日が過ぎて、気が付けば早や7月に。梅雨の真っ只中ではありますが、子どもたちはそのうっとうしさを吹き飛ばすかのように、元気いっぱい過ごしています。

さて、今年度の取り組みについて、中間評価としてのアンケートを実施いたします。本庄小学校の現在の状況をできるだけ正確に把握できるよう、昨年度と若干内容を変更しております。お忙しいとは存じますが、回答をお願いいたします。いただいたご意見を今後の教育活動にしっかりと反映できるよう努めてまいります。



(1学期の全校道徳：朝食、何食べたい?)

過日行われました、学校運営協議会の中でも、本庄小学校の取り組みについて意見交流いたしました。学校経営方針もご承認いただき、また、本庄ならではの活動を大切にしたいとのご意見もいただきました。上の写真は「全校道徳」の様子です。1年から6年までの縦割り班でテーマに沿って話し合い、自分の考えや思いを発表しています。「誰でも臆せず話す、話を受け止めることができるようになる」を目的とした活動です。少人数ということは何かと不利益にとらえられがちですが、少人数の本庄だからこそできる教育を充実させていきたいと思っております。そのためには、保護者の皆さまのご理解、ご協力が不可欠です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

校内授業研究会実施

6月23日に講師先生をお招きして校内授業研究を行いました。本校では「主体的・協働的に学ぶ児童の育成～対話によって深める授業づくり～」を研究テーマに設定し、生活および総合的な学習の時間を対象教科として校内研究を行っています。当日は、3・4年生の授業を先生方に見ていただきました。テーマは「だれもが安心してくらせる町『本庄』を目指して」でした。子どもたちは3つのコースに分かれて、車いすユーザーが安全で安心して2階の教室まで来ることができるように、という目的をもって、どんなことが必要か（行為、ことばかけ、設備の改善など）考えていきました。事前に動画を撮って心づかいポイントなどもナレーションとして録音し、分かりやすく説明していました。作成した校内安心マップには、案内のための様々な工夫が盛り込まれています。子どもたちの配慮がいっぱい詰まったマップになりました。今まではシミュレーション中心の学習でしたが、今後、実際に車いす操作の手順をプロから学んだり、実際に案内したりして、より確かなものにしていきます。講師先生からは、「教科書のない教科の指導が最も難しく、これをしっかりと単元計画を作成して実施できるようになることは算数や国語などの他教科にも必ず生きてきます」との助言をいただきました。今回の校内研究からさらに授業改善を図れるよう、全職員で取り組んでいきたいと思っております。



(3・4年 校内研究授業の様子)

読書のすすめ

図書室の本の貸出冊数が月別にそして個別に調べられることを知っていますか。4月から6月の集計を学校司書の都倉先生が出してくださいました。毎年のように課題としてあげられる読書離れや活字離れ。4月で1冊も借りていない児童数は一桁の人数だったのですが、6月には14人と増えてしまいました。毎月23日を「本庄っ子家庭読書の日」としてはいますが、読書習慣の定着は難しいようです。読書離れの一つの要因として、動画視聴時間の増加があげられると思います。映像から瞬時に伝わる面白さにどうしても興味が惹きつけられて



(わくわく絵本読み聞かせ)

しまうのだと思います。文字から場面を想像する面白さはゆったりとした時間の流れの中で感じられるものです。スマホやゲーム機よりも先に、まずは本を手にとるところからですね。27日には図書委員会の児童が園児に読み聞かせをしてくれました。小さい子にも分かりやすいようにと、絵本選びから頑張ったのだと思います。みんなとても楽しそうに聞き入っていました。

今年の黒豆は〇〇〇本!

一人1枚のトレーに黒豆は72粒。6月上旬に植えた豆は見事に発芽し、15日には定植ができるまでに生長しました。全部で1008粒植えていたのですが、全く発芽していないところを数えると150か所。生長の悪い苗もありましたから、だいたい800本といったところでしょうか。



(植え付けの前に)

お借りしている畑に全て植えつけました。さて、これから10月の収穫まで4か月間にわたってお世話をします。雑草の処理と水やりが中心ですが、7月には土寄せを行い、10月に枝豆として11月には黒豆として二度に分けて収穫を行います。さらに黒豆をさやからはずす脱粒や選別も必要です。とはいえ、3・4年生の子どもたち14人ですべての作業ができるわけではありません。また、各教科の授業時数や行事との兼ね合いもあります。保護者の皆さまには学年の枠を超えてどこかでお手伝いをお願いすることもあるかと思います。その折にはぜひご協力ください。

三田の特産物を栽培し収穫することはふるさと教育にもつながります。しかし子どもたちがゆとりをもって活動しなければ、それはただの作業になってしまいます。本庄の自然の豊かさを感じ取り、人とのつながりを大切にする心を育てるために、本庄小学校の特色ある教育活動の柱として取り組みたいと考えています。今まで受け継がれてきた取り組みを人数に見合った内容へと変革させていくことも考えながら、そして、より中身の濃い取り組みへとステップアップできればと思います。

～自然学校行ってきます～

7月2日(日)から6日(木)まで、竹野方面での自然学校を実施します。

「きょうだいみたいな5人で仲良く楽しく協力し合って、最高の思い出になるような自然学校にしよう」のスローガンのもと、学校を5日間離れて生活します。天候が少し心配ですが、非日常を体験し、一回りも二回りも大きく成長してくれることを願っています。

